



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次  
地区ガバナー 石川 正一  
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」  
クラブ会長 原田 毅

## 本日の卓話

3クラブ合同例会

## 今後の卓話予定

2/13 会員卓話2 古谷会員、小林博会員  
2/20 地区大会へ移動例会 (沖縄宜野湾コンベンションセンター)  
2/27 「未定」 東葛東 R.C. との合同例会



2013年2月4日

第1302回例会

会長 原田 毅  
幹事 宮村 義男



## 2月お誕生日祝

1日 (73才) 岩戸正一君 16日 (69才) 天笠悦藏君  
18日 (59才) 本健太郎君 20日 (59才) 渡辺丈樹君

## 前回 (1/30 1301 回例会) の記録

### 来訪者紹介

◆ゲスト 1名 浅草君夫様  
◆ビジター 1名 東京浅草R.C. 富井征也様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
45名	2名	4名	31名	8名	79.49%	1299回例会修正 欠席4名・出席率90.0%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に!

## 会長報告 <原田会長>

・今、NHKの大河ドラマ「八重の桜」を楽しみに見っていますが、そこに出てくる「ならぬことはならぬものです!」という会津魂が評判になっています。そこで、今日はこの「什の掟」に付いて、調べてみました。江戸時代、若松郭内に屋敷を構える会津藩の上士は、約八百戸あったそうですが、その子息達は六歳になると居住地によって「什」という子供達の組織(遊びの仲間)に振り分けられ、「什の掟」(什の誓い)を教えられました。

- 一、年長者の言うことに背いてはなりません。
- 二、年長者にはお辞儀をしなければなりません。
- 三、嘘を言うてはなりません。
- 四、卑怯な振舞をしてはなりません。
- 五、弱い者をいじめてはなりません。
- 六、戸外でものを食べてはなりません。
- 七、戸外で婦人と言葉を交わしてはなりません。

ならぬことはならぬものです。

上士の子息は十歳になると藩校日新館に入学するので、「遊びの什」の仲間の年齢構

成は六歳から九歳までとなります。最年長の子が「什長」となり、毎日当番の者の家に集まって「什の誓い」を申し述べ、他の者達は一条ずつ言い聞かされる度にお辞儀をしなければなりません。

それが終わると、什長が「何か言うことはありませんか」と訊ねます。これは、教えに違反した者がいないか、との問い掛けで、もし違反者がいればその者を座の中央に座らせ、事実かどうかを審問します。事実であれば、相応の制裁が与えられるのですが、それには最も軽い「無念」、「しっぺ」から最も重い「派切れ」までありました。

「無念」とは、一同の前で「無念でありました」とお辞儀をして謝罪することで、「しっぺ」はその名の通り、皆から手の甲を打たれるのです。「派切れ」は所謂絶交で、全員が許してくれるまで誰からも口をきいてもらえないので、子供にとってはとても厳しい制裁だったろうと思われます。

名前を呼び合う時も、同年または上下一つ違いであればお互いを呼び捨てにしましたが、二歳以上違うと「〇〇様」と敬称をつけて呼んだそうです。これは、家老の長男

であろうと平士の次男や三男であろうと関係ありませんでした。

十歳になって、日新館に入学すると「学びの什」という組織に変わり、やはり最年長者が什長になります。「什の誓い」は、年長者を敬う心を育て、自らを律することを覚え、集団生活に慣れる為の幼年者向け基本教育であるといえます。

第七項は現代においては最早時代遅れですが、他の項目は今でも十分に通用します。最後に、七項目を受けて「ならぬことはならぬものです」と強調するところにある意味、気迫が込められているように思いますが、現代の教育には、これが欠けているのではないのでしょうか。(グーグルから「什の掟」を検索)

#### 参考 (現在の什の掟) あいづっこ宣言

1. 人をいたわります。
  2. ありがとう、ごめんなさいを言います。
  3. がまんをします。
  4. 卑怯なふるまいをしません。
  5. 会津を誇り年上を敬います。
  6. 夢に向かってがんばります。
- やってはならぬ、やらねばならぬ。ならぬことはならぬものです。

#### 幹事報告<宮村幹事>

- ・ 2月のロータリーレートは1ドル88円になります。
- ・ 東京王子ロータリークラブより11月14日に行われたIMの記録のDVDと、東京セントラルパークロータリークラブより創立30周年記念誌及び東京王子ロータリークラブより6月19~25日の国際ロータリーリスボン年次大会一週間旅行が企画されています。興味のある方は企画書が事務所に用意しておりますのでご確認下さい。
- ・ 長島会員夫人より結婚記念品のお礼状が送

られて来ておりますのでお知らせ致します。

- ・ 来週の例会は2月4日(月)、3クラブ合同例会に変更になります。12時30分開会点鐘、14時閉会点鐘になりますのでご注意下さい。又例会終了後第8回理事・役員会を開催致しますので理事・役員の出席をお願い致します。
- ・ 東京板橋セントラルロータリークラブ及び東京早稲田ロータリークラブより例会変更のお知らせが来ております。事務所にてご確認下さい。

#### ニコニコボックス

##### <原田会長、宮村幹事>

- ・ 浅草君夫様、本日の卓話楽しみにしております。宜しく願いいたします。

##### <原田会長、宮村幹事、長沼1300回実行委員長>

- ・ 1300回記念例会、皆様のお陰で、無事終了致しました。ありがとうございました。

<渡辺、小池、中村、天笠、海内、吉田、井田、潮田>  
・浅草君夫様、本日の卓話、宜しくお願致します。

<斎藤、山尾>  
・君夫姐さんようこそ。浅草花柳界を代表して古典芸能の一つ、「寿獅子舞」を楽しみにしています。

<天笠>  
・WBC侍ジャパン 背番号決定!!  
めざせ!! 3連覇!!

<古谷>  
・インフルエンザが流行してきております。体調管理を徹底し、予防に努めましょう。

<上原>  
・-18℃旭川にて転倒し右肘骨折、全治三ヶ月。謡初め急遽海内さんに司会を代わっていただき、ありがとうございました。

<藤掛>  
・小林博さん、お誕生日の花束有難うございます。つくづく小林さんの「愛」を感じました??

<高木>  
・山尾さん、先日は大変お世話になり、ありがとうございました。

<岩戸、太田>  
・東日本大震災 頑張ろう東日本!  
立ち上がれ日本!

## 卓 話

### 「日本の獅子舞と浅草花柳界について」



浅草君夫様  
山尾会員

本日、卓話をお願いした「浅草君夫姐さんによる獅子舞」に先立ち、日本の獅子舞の概要と浅草花柳界について、お話いたします。

日本での獅子舞の始まりは、16世紀初め、伊勢の国で飢饉や疫病を追い払うために、獅子頭を作り、正月に獅子舞を舞わせたのが始まりと言われています。

その後、17世紀に伊勢より江戸へ上り、悪魔を払い、世を祝う縁起ものとして江戸に定着し、祝い事や祭り事で獅子舞が行われるようになりました。

私も幼少期、正月に獅子舞の門付けが来たことが思い出されます。

さて、これからは浅草花柳界について話します。

「花柳界」という言葉は、唐代の詩人・王勃おうぼつが美しいものを詠った「花紅柳縁（花は紅、柳は緑）」に由来するといわれます。

花柳界は、三つの業種(三業)から成り立つ独特のシステムによって運営されます。三業とは、お座敷を提供する料亭・待合、料理を提供する仕出し屋、芸者をかかえる置屋からなり、花街が別名「三業地」と呼ばれるのもそこからきています。

芸者は置屋に所属し、置屋で育てられ、置屋の看板の下で仕事をします。

中学校を卒業するかしないかの子供時分に置屋に預けられ、置屋から学校に通いながら「仕込みっ子」と呼ばれる見習い期間を経て、「半玉」になり、「一本」になり、置屋から独立して「自前芸者」となります。

芸者さんをお呼ぶ費用を玉代と呼びますが、明治始めのころの玉代は、線香が一本燃え尽きるまでを一単位として「一本いくら」と決められていたが、その後、「お線香代」というと玉代を指すようになりました。

また、今は見かけなくなりましたが、「箱屋」という人がいました。

箱屋とは、芸者の三味線の箱を出先の料亭へ運ぶ仕事をすることから付いた名で、料亭と置屋の間を駆け巡って花街内の連絡事務を執り行い、着付けやお披露目の付き添い等、芸者衆の身の回りの世話をする男衆のことを言います。

このように、花街は多くの業種、人の努力で形成されており、何れが欠けても成り立ちません。

昭和 37 年当時は、浅草花柳界の登録芸妓 250 名、料亭 75 軒、見番には 22、3 人の箱屋が勤めていたそうです。

相撲・歌舞伎・お能等と共に花柳界も日本文化の一つとして絶やしてはならないと思います。

当クラブとしても、社会奉仕活動の一環として考えて頂ければ幸いです。

口上が長くなりましたが、ご紹介する君夫姐さんも、長年花形として花柳界に貢献されてきたお一人です。

壽獅子舞をお楽しみ下さい。

